



緑っ子だより

校訓／教育目標
かしこく やさしく たくましく

豊かな心とたくましさを持ち
夢に向かって伸びる緑っ子の育成

宇土市立緑川小学校
平成30年8月29日号
文貴 谷口育聖

礼儀正しく、思いやりのある子

2学期がスタートしました。夏休み中、子どもたちは元気に遊び、さまざまな活動を通して多くのことを学んだのではないのでしょうか。始業式では、日焼けして、一段とたくましくなった子どもたちの姿を見ることができました。

1学期は、めざす児童像1の「**めあてをもち、進んで学ぶ子**」の特に『**めあてをもつ**』というところを重点的に話してきました。2学期は、児童像2の「**礼儀正しく、思いやりのある子**」を重点的に話していく、実践につなげていきたいと思います。2学期の生活目標のほとんどが『礼儀』もしくは『思いやり』に関連しています。

「礼儀正しく」は日頃の挨拶や後片付けをはじめ、校外学習やみどりかわ教育の日などの行事への取組を通して『礼』について考え、実践できる子どもを育てていきたいと考えています。「思いやりのある子」については、始業式の時、下のような話をしましたので紹介します。

・「人を思いやる」とは、具体的にはどんなことでしょうか？

・自分の思いを相手に伝える・与えることは、とても大切なことです。

・自分の財産を与えることも、とても大切な「思いやり」です。「財産」とは何でしょうか？

・お金や品物以外に、人は誰でも7つの財産を持っています。そのうち5つ紹介します。

・それは、『**目(やさしいまなざしで)**・**口(相手の立場で)**・**顔(にっこり笑顔で)**・**手足(汗を流して)**・**心(ありがとうの心で)**』です。(あと二つは、『尻』と『背中』です。さて、どんな意味でしょうか？)

・この「財産」をどんどん使っていきましょう。「財産」を使えば使うほど、どんどん『未来ちょきん』が増えていきます。

・「未来ちょきん」はお金ではありません。豊かな心、豊かな人生です。

・でも、『**与えた情けは水に流し、受けたご恩は石に刻む**』ことを心がけてください。



「人に、世の中に、恩返ししたい」・・・これは、行方不明になっていた2歳児を発見した尾畠さんの口癖でした。「人の命より重いものはない。尊い命が助かってよかった」と報道陣の前で涙を浮かべていました。被災地支援にも取り組み、東日本大震災では宮城県南三陸町で家族写真など「思い出の品」を捜すボランティアに従事。熊本地震では益城町で、他のボランティアを統率し、がれきの撤去などに当たったといいます。「与えられた・・・」は、尾畠さんの座右の銘だそうです。

9月行事予定

- 1日(土) 童話発表会(市民会館)
- 2日(日) 通学合宿開講式(公民館)
- 5日(水) 指導員訪問
- 7日(金) 三校二園授業研究会
- 11日(火) クラブ活動
- 13日(木) 修学旅行事前交流会
＊網津小6年との交流
- 15日(土) ノーメディアデー
- 17日(月) ● 敬老の日
- 19日(水) 修学旅行(6年)
- 20日(木) ＊長崎方面
- 21日(金) 水俣学習(5年)
- 23日(日) ● 秋分の日
- 24日(月) 振替休日



夏休みの行事から

○宇城小体連水泳大会 7月24日(火)

豊野小学校のプールで行われました。5、6年生選抜チームが参加し、自己新を連発していました。練習には中学生も泳ぎ方などを指導してくれました。

○宇土市少年の主張 8月2日(木)

宇土市民会館に市内小中学校の代表者が集まりました。本校代表の宮田優さんは、いじめの原因について深く考え自分の意見を明確に主張しました。

○宇土市子ども議会 8月8日(水)

宇土市役所で市内小中学校の代表者が、宇土市の市政について市長に質問をしました。岩本華音さんは、宇土市への観光客誘致について鋭い質問をしました。

○PTA除草作業 8月26日(日)

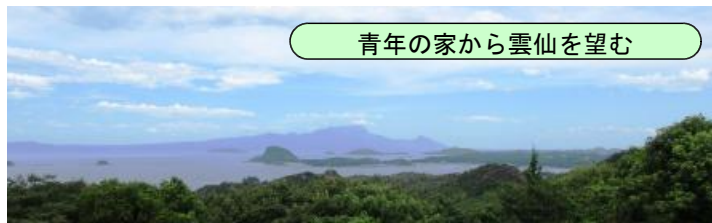
多数の児童・保護者の皆さまをはじめ、公民館長さんなど地域の方々のご協力により、運動場が見違えるようになりました。側溝もきれいになりました。ありがとうございました。



小中合同リーダー研修情報

8月1～3日、天草青年の家で、住吉中・緑川小・網津小三校合同による児童会生徒会のリーダー研修会を実施しました。

住吉中学校区の三校は、平成29・30年度熊本県教育委員会指定の「子どもたちによるいじめ防止推進事業」に取り組んでおり、昨夏に続き2回目のリーダー研修を実施しました。



青年の家から雲仙を望む

－「子どもたちによるいじめ防止推進事業」とは？－

○事業の目的は？

子どもたちが自ら考えた主体的な取組や、学校・家庭・地域の連携による支援体制を充実することにより、いじめを許さない環境づくりを推進し、実践的な研究を行い、学校教育における重要な課題であるいじめの未然防止及びその解消を図ります。

○事業の実施内容は？

1 指定地域(宇土市住吉中学校区)での取組

いじめ防止に向けた小中学校児童会生徒会の地域リーダー研修(今回の活動)を行います

・学校が家庭、地域・関係機関と連携した組織的な対応等、地域の実態に応じ学校・家庭・地域が連携した学校支援体制の構築を行います。

・11月30日(金)午後、住吉中学校で事業の実践発表会を行います。

2 本校での取組

児童会が主体となつたいじめ防止の取組を行っています。

(心のきずなを深める月間での取組や人権月間での取組、日頃の朝の活動や網津小との交流など)

・「子どもの居場所づくり推進テーブル」や『命を大切に作る心』を育む指導プログラム』の実践等を通して、いじめの未然防止とその解消を図るための取組を行うための生徒指導体制を構築していきます。

◆1日目(8月1日)

午後1時30分に、貸し切りバスで天草青年の家に着。入所の集いの後、対面式。住吉中16名、緑川小7名、網津小8名が自己紹介をする。住吉中の平川先生によるアイスブレイク。ゲーム等を行いながら、コミュニケーションを図ると、37名の緊張感が少しずつ溶けていった。

研修Ⅰでは、この1年間の取組の振り返り、研修Ⅱでは、その発表をした。各学校ともに昨年決めたスローガンをもとに実践していた。本校は三嶋先生と私が参加した。

**見つけよう お互いの良さ
咲かせよう ありがとうの花
広げよう やさしさの輪**

◆2日目(8月2日)



午前の活動(研修Ⅲ)は、ペーロン船に乗り、4号橋近くの仏島周回コースで競漕。研修Ⅳは、発表に向けた準備を行った。夜はキャンドルサービスを行った。本校からは、野田先生と米井先生が参加した。

◆3日目(8月3日)

研修Ⅴでは、各学校の発表が行われ、意見交換を行った。研修Ⅵでは、各学校から出された意見をもとに、原稿を作成した。このことは11月30日(金)に行われる事業実践発表会でのポスターセッションの重要な内容となる。本校からは、青木教頭先生が参加した。



危機管理マニュアル

宇城地区では、あらゆる差別事象に対して、適切かつ迅速に対応するため、人権問題に関する「危機管理マニュアル」を策定しています。身近で見聞きした人権に関する差別的な言動がございましたら、まずは、学校へご一報ください。**【0964-22-0613 教頭】**

